

## 8. 業務運営

### 8.1 組織運営

社会経済情勢や中小企業のニーズの変化などに的確に対応できる機動性の高い執行体制を確保するため、地方独立行政法人のメリットを活かし、柔軟かつ迅速に組織体制の検証を行い、組織体制の構築および運営を行った。

#### 8.1.1 組織体制および運営

(1) 組織の効率的な執行体制確保

1) 2022年度に変更した執行体制を継続

2) 公益財団法人東京都中小企業振興公社との人事交流

2019年度に開始した人事交流を、双方の組織の活性化と人材の育成を目的に継続

(2) 既存組織体制にとらわれないプロジェクトチームの設置と部署間連携によるニーズへの対応

1) デジタル化推進委員会

デジタル化推進に関する共通認識の醸成と、各部の取り組みの共有・意見交換を目的にデジタル化推進委員会活動を継続

2) 協創的研究開発の継続

組織の垣根を乗り越え、複数の組織を横断したチームを構成し、統合的に課題を解決する協創的研究開発を推進

#### 8.1.2 人材育成

職員の能力開発を促進するため、各種職員研修を実施した。

(1) 入所研修：新規採用および転入職員に対する事業説明など（受講者49名）

(2) 職層別研修：職層ごとに必要な知識の習得や実務研修など（受講者 延べ94名）

(3) 専門研修：職務上必要な専門知識の習得（計15件）

(4) 一般派遣研修：外部機関における研修（受講者 延べ237名）

### 8.2 施設整備

都内中小企業の技術向上とその成果の普及を図るため、事業実施に必要となる施設整備を行った。本部においては、各種施設整備を実施した。また、2021年度から「本部長期保全計画」に基づき、設備改修工事を実施している。

## 8.2.1 本部・DX推進センター 施設整備・修繕工事 合計59件

1	1E04 電動油圧シリンダ用電源増設工事	28	太陽光発電設備工事
2	5S01-2 電源改修工事	29	急速充電装置工事その3
3	屋上排気除害設備モータ交換工事	30	4E09 電気設備等改修工事
4	3S04 排気ファンモータ交換工事	31	1E04 機器整備対応工事
5	シャッター開閉器交換工事	32	4E09 内装改修工事その2
6	屋上避雷導線修繕工事	33	自動扉用弱電設備工事
7	執務室パーテーション購入	34	共用試験室 491 (旧 4S06 室) 圧縮空気配管工事
8	4S06 電気錠設置工事	35	照明設備改修工事
9	2N04 コンセント増設工事	36	4E10 電気設備改修工事
10	第二非破壊検査室遠隔確認カメラ設置工事	37	1E04 電気設備改修工事
11	5E02 電源改修等工事	38	3N01 ボンベスタンド設置工事
12	役員幹部室改修工事	39	漏水検知システム増設工事
13	屋内消火栓用逆止弁交換工事その2	40	払込窓口デジタルサイネージ用電源工事
14	監視カメラ増設および修繕工事	41	半導体材料実験室(2N01)装置用冷却水及び上水配管修繕工事
15	屋上排気除外設備制御盤修繕工事	42	4E10 高圧ガスボンベ架台撤去工事
16	2N01 純水配管接続工事	43	4E10 高圧ガス減圧供給設備撤去工事
17	管路収集設備修繕	44	中央監視室内休憩室 1S04-2 空調機更新工事
18	屋上室外機(3C13-3サーバー室パッケージエアコン系統)修繕工事	45	1S04-1 中央監視室空調機修繕工事
19	超微細形状機器校正室空調設備修繕工事	46	3W04 分電盤ELB増設工事
20	4S04 電源改修工事	47	2N01 電源改修工事
21	駐車場管制設備出口判定機修繕工事	48	3W05 室棚撤去工事
22	屋上移動式粉末設備取替工事	49	1E01 電源改修工事
23	無機分析実験室(4N06)ほかフレキシブルダクト交換工事	50	消火器交換等作業
24	空調設備蒸気加湿器修繕工事	51	倉庫 363(3C14)ブラインド設置工事
25	4S06 電源改修工事	52	1S01 電源改修工事
26	3C19-1FCU修繕工事	53	3S04 電源改修工事
27	自動扉用配線等工事その2	54	第1細胞・遺伝子実験室(4E09)床配管撤去補修工事

55	アンカー打設等工事	58	ゼロエミッション化推進工事実施設計業務委託*
56	特高電気室スポットネットワーク監視盤PLC更新作業	59	サービスロボット用複合環境試験装置試験室における漏水センサ敷設等業務
57	バリアフリー及び非接触化対策工事*		

\*2022年度からの継続案件

### 8.2.2 城東支所

施設整備・修繕工事 合計3件

1	弱电設備等撤去工事(5)	3	地下1階配管スペース冷温水配管漏水修繕
2	地下1階清掃員控室冷温水配管漏水修繕		

都が実施する大規模改修関係を除く

### 8.2.3 墨田支所

施設整備・修繕工事 合計6件

1	墨田支所 空調換気設備修繕業務委託	4	恒温恒湿室自動扉異音制御調整業務委託
2	受付事務室可変風量制御装置修繕業務委託	5	墨田支所恒温恒湿室自動扉駆動部修繕業務委託
3	墨田支所 照明器具LED更新業務委託	6	墨田支所 ブラインド操作コード交換業務委託

### 8.2.4 城南支所

施設整備・修繕工事 合計4件

1	機器整備対応工事*	3	情報設備改修工事
2	空調機の修理委託	4	廃水処理設備(制御盤)の修繕委託

\*2022年度からの継続案件

### 8.2.5 食品技術センター

施設整備・修繕工事 合計1件

1	フードテック付帯工事*		
---	-------------	--	--

\*2022年度からの継続案件

## 8.2.6 多摩テクノプラザ

施設整備・修繕工事 合計55件

1	多摩テクノプラザB棟空調設備改修工事(4)*	29	非常業務放送設備修繕
2	B棟ブース設置改修工事(5)	30	A棟2階男子トイレ大便器修繕
3	A棟恒温恒湿室空調用チラーユニット部品交換作業	31	A棟2階男子トイレ大便器不具合修繕
4	B棟中2階設備スペース給気用ファン交換作業	32	非常用発電機用燃料タンク液面指示計交換作業
5	B棟EHP-3-B室外機圧縮機等交換作業	33	A棟事務室電気湯沸器修繕
6	C棟2階女子トイレ修繕作業	34	蒸気ボイラー軟水器交換修理
7	A棟恒温恒湿室空調用冷水1次ポンプ部品交換作業	35	C棟1階電気湯沸器修繕
8	A棟雑用水加圧給水ポンプユニット整備作業	36	業務用ロスナイ修繕
9	トイレ呼出表示装置修繕	37	多摩正門カードリーダー交換
10	A棟非常用発電機用燃料タンク液面指示計等の調査	38	非常放送設備修理
11	A棟繊維物性試験室空調機AHU-1-1 部品交換作業	39	B複評室空調室内ユニット部品交換作業
12	A棟屋上キュービクル部品(コンデンサトリップ装置)交換作業	40	B棟複合素材評価室空調室内ユニット修繕作業
13	B棟非常放送機器修理作業	41	A棟事務室機械警備パソコン用無停電電源装置交換及び設定作業
14	B棟屋上キュービクル内リレー部品交換作業	42	B棟複合素材評価室空調用ドレン配管改修工事
15	A棟自動pH中和処理装置部品交換作業	43	A棟男子更衣室ロッカー転倒防止金具取付作業
16	A恒温恒湿冷水1次ポンプ更新作業	44	B棟仕上ゾーン手元開閉器(昇華熱転写機)移設作業
17	A棟北側外壁修繕工事	45	B棟複合素材評価室空調設備ガス漏れ診断
18	B棟電源回路雷保護対策工事	46	B棟自動ドア外カード交換
19	敷地内電話設備回線及び構成、並びに直通回線端末調査	47	B棟不織布ゾーン配線用遮断器改修等電気工事
20	A棟屋上空冷モジュールチラー部品交換作業	48	B棟EMCサイト機械警備関連機器取外し・再取付作業
21	加湿用ポンプユニット分解整備作業	49	A棟環境試験室動力幹線引込等電気工事
22	敷地内非常放送設備障害調査	50	A棟環境試験室2次側動力用電気設備工事
23	A棟雑用水加圧給水ポンプユニット・ポンプ更新	51	B棟仕上ゾーン布用インクジェット移設等作業委託
24	敷地内高木伐採及び剪定作業	52	B棟不織布ゾーン繊維機器2台移設作業
25	電話交換機用蓄電池交換作業	53	B棟仕上ゾーン200V電源移設作業
26	A棟外調機OHU-2-Aモータダンパ交換作業	54	A棟環境試験室上水給水管経路変更作業
27	空調用加湿器整備作業	55	B棟仕上ゾーン照明取付作業
28	電話交換機修繕		

\*2022年度からの継続案件

城東支所、城南支所、多摩テクノプラザにおいては、東京都から建物管理業務を受託しており、施設整備には主に受託費を使用している。

## 8.3 安全衛生管理

### 8.3.1 安全衛生管理

#### (1) 安全衛生委員会

本部において、安全衛生に関する事項を調査審議するため、労働安全衛生関係法令に基づき、安全衛生委員会を開催した。

#### (2) 衛生委員会

多摩テクノプラザにおいて、衛生に関する事項を調査審議するため、労働安全衛生関係法令に基づき、衛生委員会を開催した。

#### (3) 安全衛生推進部会

安全衛生推進部会ごとに、職場の状況に応じた自主的な安全衛生活動を実施した。

#### ＜安全衛生推進部会＞

- |                      |              |
|----------------------|--------------|
| ① 内部・デジタル・企画・総務部会    | ⑤ 城東部会       |
| ② 物理応用技術部・機能化学材料技術部会 | ⑥ 墨田部会       |
| ③ 情報システム技術部会         | ⑦ 城南部会       |
| ④ 技術支援部会             | ⑧ 食品技術部会     |
|                      | ⑨ 多摩テクノプラザ部会 |

#### 【構成員】

・ 部会長

①～④：各部の部長、室長、上席研究員、課長の中から1名選出

⑤～⑧：各支所長

⑨：多摩テクノプラザ 所長

・ 安全衛生推進員

①～④：各部内の室・グループ・課ごとに1名ずつ選出

⑤～⑧：各支所の管理係から1名、管理係以外から1～3名程度選出

⑨：総合支援課から1名、電子技術グループ、複合素材技術グループから1名ずつ選出

・ その他部会長が指名した者

#### 【活動内容】

・ 月1回以上、安全衛生推進部会を開催

・ 災害ポテンシャルの摘出と排除を実施

・ 安全衛生上の課題検討と排除を実施

#### (4) 安全衛生手帳

安全衛生手帳を活用して安全に関する基本的な知識を習得し、日常業務の安全化に努めた。

(5) 法令などに基づく活動

労働安全衛生関係法令に基づき、健康診断、ストレスチェック、健康相談、保護具の適正配布、作業主任者らの適正配置、作業環境測定、施設整備などを実施した。

(6) 健康づくり活動

職員の健康促進のため、健康習慣のきっかけづくりを支援する「健康づくり活動」を2回実施した（6月1日～30日、10月1日～31日）。2023年度は、全職員を対象に「階段などの積極的な活用」を推奨し、職員の健康状態把握のきっかけづくりを支援した。

(7) メンタルヘルス

メンタルヘルスケアに係る管理職向け研修（ラインケア研修、オンライン）および全職員向けセルフケア研修（eラーニング）を行った。

(8) 安全な作業に関する研修

新規採用者向けに、実験室などで安全に業務に取り組むための基本的な研修を実施した。

### 8.3.2 化学物質等管理

(1) 化学物質等の管理

化学物質等について、2008年度から薬品管理支援システム（IASO）にて管理を行っている。

化学物質等を取り扱う全ての部署に対して安全点検を行い、取り扱い方法や保管状況について確認した（10月2日から10月31日まで）。

年2回、薬品廃棄を行うとともに、3月には在庫管理のための薬品棚卸しを実施した。

(2) 化学物質等のリスクアセスメント

労働安全衛生法に基づき、リスクアセスメント対象物質（674物質）を取り扱う作業に際しては、事前にリスクアセスメントを実施した（既実施総件数2,545件）。

2023年度リスクアセスメント実施件数： 150件

### 8.3.3 高圧ガスの管理

(1) 第二種貯蔵所（本部）で定められた保有量を超えないよう適正な保有量管理を実施

(2) 職員に対する安全講習会「高圧ガス保安教育」を開催（リアルおよびオンデマンド開催）

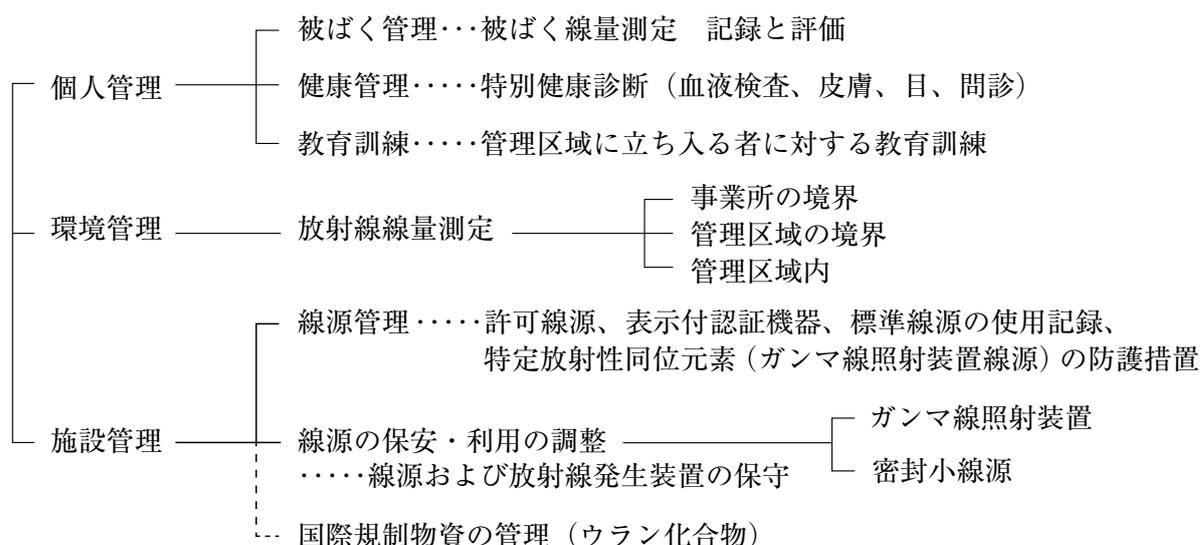
・実施期間：リアル（12月9日）、オンデマンド（12月18日～2月6日）

・対象者：本部全職員（受講者数289名）※他拠点職員は任意

### 8.3.4 放射線安全管理

放射性同位元素・放射線を取り扱う公設事業所として、職員の安全確保と社会的責任を果たすため、放射性同位元素などの規制に関する法律（RI 規制法）関連法令の規定に基づき、個人管理、施設・線源管理、環境測定などの放射線管理を実施した。

## (1) 本部放射線施設における放射線管理の概要



## (2) 本部における放射線施設の概要

## 1) 使用許可 2011年1月17日付許可済み（許可証番号 使第5725号）

- ・放射線管理区域： 第一非破壊検査室、第二非破壊検査室
- ・許可線源： 4種（計6個） ※2024年3月現在
  - ・ガンマ線照射装置（Cs-137:81.4 TBq 3個）
  - 以下は、2024年3月現在未保有
  - ・密封小線源（Co-60:370 MBq、Co-60:37 MBq、Cs-137:37 MBq 各1個）

## 2) 表示付認証機器

2011年 10月27日届出

- ・ガンマ線標準照射線量線源（Co-60:10 MBq、Cs-137:10 MBq、Cf-252:3.7 MBq 各1個）

2016年 9月20日届出

- ・ガスクロマトグラフ用線源（Ni-63:370 MBq 1個）

## (3) 個人管理

## 1) 被ばく管理

## ① 放射線管理対象者

単位:人

対 象	職 員	外 来 者	合 計
放射線業務従事者	37	0	37
一時立入者	18	388	406
合 計	55	388	443

② 被ばく測定結果

放射線業務従事者、一時立入者とも、0.1ミリシーベルト未満であった。

【参考】法定被ばく限度

放射線業務従事者： 50ミリシーベルト / 年、100ミリシーベルト / 5年  
 一時立入者： 1ミリシーベルト / 年

2) 放射線健康診断

放射線業務従事者全員について、異常は認められなかった。

3) 教育訓練

① 初めて管理区域に立ち入る前の教育訓練・・・10名

② 管理区域に立ち入った後の教育訓練（再教育）・・・27名

訓練内容 ・放射線の基礎

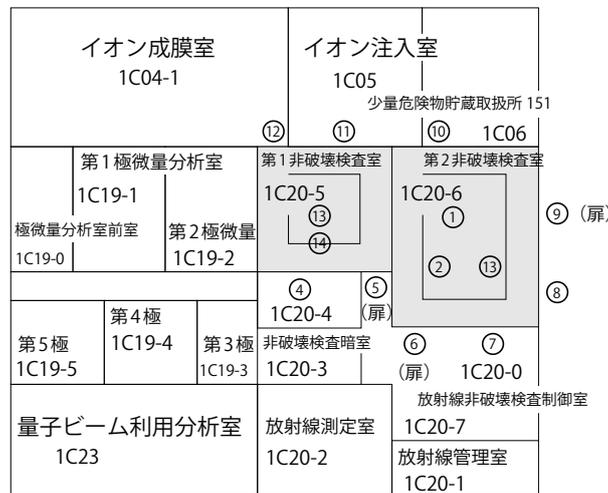
・放射線安全取り扱いに関する法律

・放射線の人体影響

・放射線安全取り扱いの実際

(4) 環境測定

毎月1回、ガンマ線照射装置稼働状態にて、管理区域内（図中①、②、③）、管理区域境界（④～⑭）、事業所境界（⑮）、事業所外のバックグラウンド（⑯）における1センチメートル線量当量率を測定した。測定結果は各月とも、測定点①～⑭では0.5マイクロシーベルト/h以下、⑮、⑯では0.1マイクロシーベルト/h以下と線量限度内であった。



- ① ③ 使用施設中央
- ② 貯蔵箱近辺
- ⑬ 上階（研修室 243）右
- ⑭ 上階（研修室 243）左
- ⑮（正面玄関前境界）
- ⑯ BG（正面玄関前緑地内ヒバ）
- ：放射線管理区域

## 【参考】 管理区域ほかにおける線量限度

- 1) 人が常時立ち入る場所（管理区域内）における線量限度：  
実効線量で1ミリシーベルト / 週（40 h） = 25マイクロシーベルト / h
- 2) 管理区域の境界における線量限度：  
実効線量で1.3ミリシーベルト / 3月（40 h × 13週） = 2.5マイクロシーベルト / h
- 3) 事業所の境界における線量限度：  
実効線量で250マイクロシーベルト / 3月 = 0.116マイクロシーベルト / h
- 4) 線源等の使用管理
  - ① 線源等の搬入および搬出： 実績なし
  - ② 線源等使用状況

単位:件

照射装置名	使用件数		
	研究等	依頼試験等	計
ガンマ線照射装置	17	79	96
表示付認証機器(ガンマ線源、中性子線源)	0	31	31
ガスクロマトグラフ用線源	0	0	0

## (5) 安全点検

管理区域について以下の安全点検を実施、安全が確保されていることを確認した。

- 1) 線源等使用者による始業・終業時における日常点検
- 2) 線源の保管状況の点検
- 3) 放射線取扱主任者および安全管理責任者による施設・設備、線源の管理状況、法定帳簿の記帳・保管など、放射線管理全般についての点検（6ヶ月ごと）
- 4) 地震（震度5弱以上）直後の安全点検 ※2023年度該当なし

## (6) 法令に基づく定期確認・定期検査（5年ごと）

公益財団法人原子力安全技術センターによる定期確認・定期検査を受検し、合格した。

（2021年5月27日）

## 8.4 社会的責任

## 8.4.1 リスクマネジメント

2023年度は、「お客様の安全」（継続）、「スタンドアローン端末のセキュリティ管理」（継続）、「機器利用・依頼試験の停止等に関する全所的対応・周知方法の検討」（新規）の3テーマを選定した。

## 8.4.2 内部統制

## (1) 内部統制等推進体制

「内部統制・コンプライアンス推進規程」を運用し、理事長を内部統制等最高責任者とする推進体制としている。

(2) コンプライアンス委員会の運営

内部統制等最高責任者である理事長直轄のコンプライアンス委員会を設置し、所内における内部統制・コンプライアンスに関する取り組みを総括している。

委員会は、年度内に4回開催した。

8.4.3 情報開示

「個人情報保護に関する法律」、「東京都情報公開条例」に基づき、「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターが行う情報公開事務に関する要綱」および「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター保有個人情報開示・訂正・利用停止事務取扱要綱」等を制定・施行している。

2023年度は、情報開示請求4件であった。

(本年報は、2023年度 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 業務実績等報告書の内容に基づいて記載している)